

出展ゾーン

建設

SPR工法

老朽管路を再生する“スパイラルの力” 施工実績1,655kmを突破！

日本SPR工法協会では、小口径から大口径まであらゆる断面形状に対応できる更生工法を取り揃え、下水道管の老朽化の危機を解決するとともに、管きよの耐震化に貢献しています。今後もインフラの改築・更新事業を支えるべく、品質の向上とコスト縮減に努めてまいります。

SPR工法

適用管径 円形（既設管径）：呼び径 250～4750
非円形：（更生管寸法）高さ800～5750mm、幅800～5750mm

概要 老朽化した既設管の内側に硬質塩化ビニル材（プロファイル）をスパイラル状に製管し、既設管との間隙に特殊裏込め材を充填することにより、プロファイル・裏込め材・既設管が一体化した強固な複合管として蘇らせる工法です。

《特長》

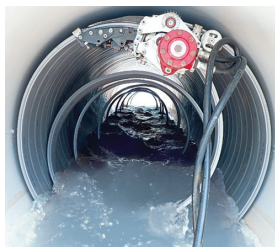
- ✓下水供用中でも施工可能
- ✓様々な断面形状に対応可能
- ✓曲線部施工に対応（曲率半径5Dまで）



SPR-NX工法

適用既設管径 円形：呼び径 1000～2000

概要 SPR工法の特長に加えて、製管機の小型化により流下阻害を低減。支保工レス注入技術により工期縮減を実現できる工法です。



【新工法】SPR-SE工法エキスパンドタイプ

適用既設管径 円形：呼び径 450～700

概要 製管時にワイヤー挿入を行いなら更生管を構造。ワイヤーを引き抜いた後、プロファイルを送り込むことで更生管が拡張（エキスパンド）し、既設管に密着した自立管を構築します。既設管の強度を期待できないような老朽管でも更生できる工法です。

《特長》

- ✓下水供用中でも施工可能
- ✓拡張（エキスパンド）するだけで施工完了
- ✓プロファイルのみで自立管としての強度を発現



拡張前



拡張後

SPR-SE工法

適用既設管径 円形：呼び径 450～2000

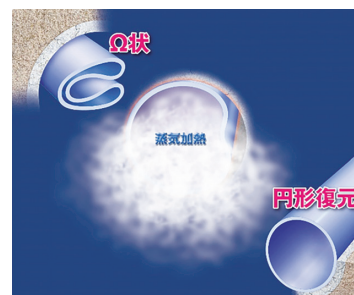
概要 プロファイルに組込まれた高い剛性を持つスチール部材により強度を発現し、更生管だけで自立強度を確保できる工法です。

オメガライナー工法

適用既設管径 自立管タイプ/円形：呼び径 150～400 二層構造管・ライニングタイプ/円形：呼び径 150～450

概要 老朽化したヒューム管、鋼管などの小口径管路を、Ω状に折りたたんだ形状記憶性能を持つ硬質塩化ビニル管を蒸気で加熱することで円形に復元させて更生する工法です。

耐震性・耐摩耗性・耐食性に優れており、有機溶剤を使用しないため臭気や火災が発生する心配もありません。



小間番号

■ 3号館 ■

3-214

【出展者】日本SPR工法協会

【所在地】〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル4F

【連絡先】TEL：03-5209-0130 Eメール：info@spr.gr.jp

担当部署：技術部

ホームページはこちら→

